

令和元年度

航空宇宙生産技術人材育成・研究開発プロジェクトに係る

外部評価委員会 評価結果 <概要版>

令和元年12月

航空宇宙生産技術人材育成・研究開発プロジェクトに係る

外部評価委員会

航空宇宙生産技術人材育成・研究開発プロジェクトに係る  
外部評価委員会 委員名簿

(敬称略)

委員長：松島 紀佐 (日本航空宇宙学会 人材育成検討委員会委員)

委員：吉田 幹夫 (日本航空宇宙工業会 調査部部长)

久保田英揮 (日本能率協会 エキスパート)

渡邊 新一 (中部経済連合会 産業振興部担当部長)

河田 賢次 (岐阜県工業会 専務理事)

評 価 活 動

令和元年12月 2日 評価資料に基づく事前評価 (書面)

12月 6日 委員会開催

- ・航空宇宙生産技術開発センターおよび県からの  
事業概要説明・事業報告
- ・質疑応答
- ・評価結果審議

# 評 価 結 果

## 1 プロジェクトの推進に関すること

プロジェクト推進に関しては、産学官が連携して取り組む体制が取られ、実施スケジュールについてはフェーズごとの目標が示されており妥当である。現状での実施状況は順調である。一方、体制においては、産学金官の金の役割の明確化、地方公共団体の試験研究機関の関与など、また、実施スケジュールにおいては、今後の国内外の環境変化に対応するための柔軟な二次構造を持たせるなど、プロジェクトがより一層良くなる工夫を図られたい。

## 2 人材育成に関すること

人材育成に関しては、航空宇宙生産技術における現状の課題や将来像に基づいて適切に産学連携のカリキュラム整備と教材作成が行われようとしているため、産業界の求める優れた人材が育成されると期待できる。もちろん、現状の構想ですべての人材育成ニーズに対応しているわけではないので各機関との意見交換を行い、カリキュラムをより一層充実させるよう、科目の追加・教材の選択を検討されたい。教材については、先進的知見を含んだ日本一のものを作成願いたい。

## 3 研究開発に関すること

研究開発に関しては、2つの大テーマが示され、その大テーマの下に中テーマ（個別課題）が分類された段階的構造になっている。中テーマは、航空産業界からの要請に合ったものが設定されており、産学共同で研究開発に取り組む相乗効果により、効率的に課題の解決が出来、産業の成長・発展が促進されると思われるので、研究テーマと実施体制について概ね適切と評価する。今後、大テーマを、更に優れた形で実現するための詳細な観点からの検討や気づきに目を向ける事と、着実に成果を示していくための枠組みづくりをお願いしたい。加えて、航空宇宙生産技術全般のロードマップの中での、本プロジェクトで取り上げた2つの大テーマの位置を示して頂きたい。

#### 4 地域への展開に関すること

地域への展開に関しては、人材定着・技術普及のために、地域の航空産業の現状分析に基づいた適切な取り組みがなされつつあると評価する。特に、リカレント教育は人材の高度化および定着、更に、技術普及の複数の観点で着実に効果を上げることが期待できる。一方、本プロジェクトで輩出された高度な人材を県内に定着させるためには、安定的なポストが必要であり、航空宇宙生産技術職の恒常的雇用の創出に努力頂くことも重要である。また、開発した技術を地域のサプライチェーン全体または他産業で活用してもらうための技術的工夫および情報発信にも留意頂きたい。加えて、岐阜県内で航空宇宙関連製造の新規受注ができるよう努力されたい。

(以上)